



絆できらめく ひと・まち・自然 未来へつなぐ 共生の郷

みなさんと議会を結ぶ情報誌

議会だより

さよう

第74号

令和7年5月5日発行



播磨一本堂光福寺の大系桜（漆野）

・第120回定例会 審議内容	2
・「ここに注目！」令和7年度予算	4
・予算特別委員会	6
・一般質問 10人の議員が斬り込む	15
・委員会の動き、組合議会報告	26
・議会の予定・編集後記	裏表紙

縮充の推進に向けた予算

令和7年度 予算の概要

令和7年度当初予算は、一般会計130億272万円、特別会計・公営企業会計は95億885万3000円。

一般会計と特別会計・公営企業会計を合わせた総額は225億1157万円で前年度比4・1%減となりました。

3月定例会は、3月4日から25日までの22日間の会期で開催し、令和7年度一般会計ほか、各特別会計・公営企業会計予算案10件は予算特別委員会を設置し2日間にわたり審査しました。

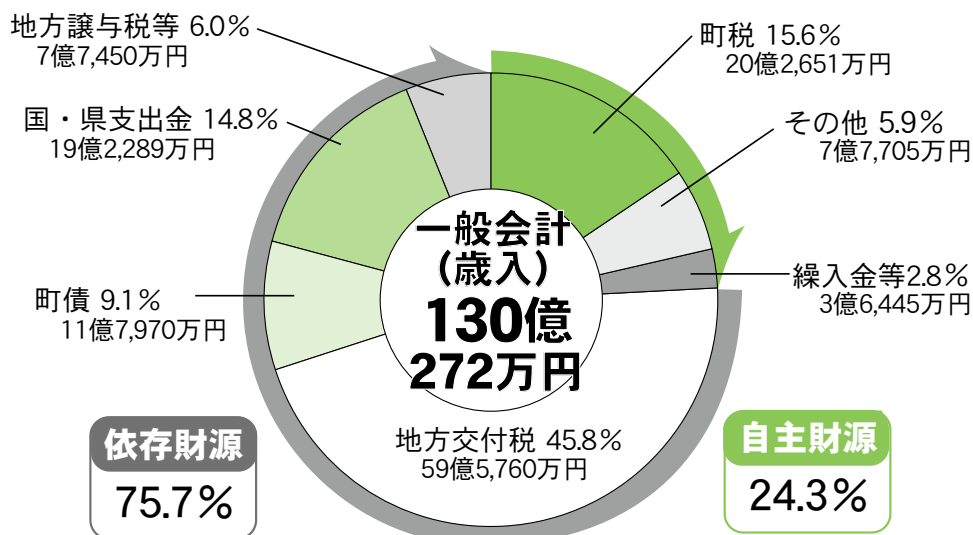
条例の制定と一部改正、第4期佐用町教育振興基本計画、第3期佐用町子ども・子育て支援事業計画、町有財産の無償貸付など39件、令和6年度補正予算案6件の合計45件の議案と、報告1件、承認1件、同意2件で、すべて原案のとおり可決、承認、同意しました。

一般質問は、10名の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

歳入

町税は、20億2651万円で前年度比6461万円の増収の見込み。地方交付税は59億5760万円を見込み、町債は、前年度比12億6248万円減の11億7970万円を見込んでいます。町債が減額された要因は、南光文化センター大規模改修事業、直売所（味わいの里三日月）の改修事業などの完了によります。

	歳入	金額	説明	前年比%
自主財源	町税	20億2,651万円	町民の皆さんから収めた税金	3.3
	その他	7億7,705万円	使用料・手数料・寄附金他	24.0
	繰入金	3億6,445万円	特別会計や基金からの繰入金	90.7
依存財源	地方交付税	59億5,760万円	国から交付されるお金	0.6
	町債	11億7,970万円	国や銀行から借りるお金	△ 51.7
	国・県支出金	19億2,289万円	国・県からの補助金	△ 5.0
	地方譲与税等	7億7,450万円	地方消費税など国から交付されるお金	△ 5.8
	合計	130億272万円		



令和7年度 予算決定

一般会計 130億 272万円
前年度比7.1%減
総額 225億1,157万円
前年度比4.1%減
※一般会計、特別会計、公営企業会計の合計

歳出

令和7年度に合併20年を迎えることから、各種記念事業が約2000万円の予算をかけて実施されます。（詳細はP10参照）

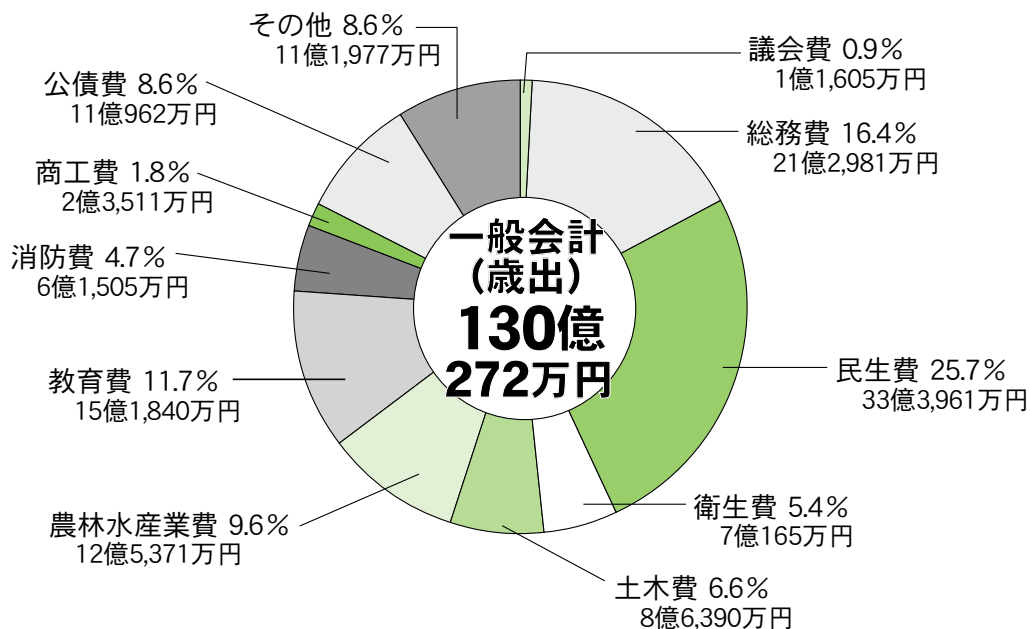
また、10年後の町未来を見据え、「縮充のまちづくり」を広く浸透させる事業を展開し、縮充の理念を基盤としたまちづくりを推進します。

住民課などの窓口で各種証明などの手数料支払いにキャッシュレス決済を導入します。

味わいの里三日月とふれあいの里上月の既存加工所を除却、味わいの里三日月の跡地に駐車場を整備、整備事業は完了します。

観光分野では、三日月陣屋館（橋梁）の改修工事を実施し、地域に残る文化財を観光資源として活用を図ります。

歳出	金額	主な事業の説明	前年比%
議会費	1億1,605万円	議員報酬・議会だより印刷製本費	△ 1.0
総務費	21億2,981万円	若者グループ応援助成事業、電算システム設定委託料、参議院選挙及び町長選挙費用	31.6
民生費	33億3,961万円	外出支援事業助成金、障害福祉サービス費、さよう育児・子育て支援事業	4.1
衛生費	7億165万円	予防接種、がん検診委託料、出産子育て応援交付金、生ごみ減量化推進事業	△ 5.9
土木費	8億6,390万円	急傾斜地崩壊対策事業負担金、道路維持、道路新設改良	△ 1.6
農林水産業費	12億5,371万円	農業の担い手確保補助金、地籍調査にかかる測量調査設計委託料、早生樹施業事業、町有林化促進事業にかかる土地購入費	△ 53.8
教育費	15億1,840万円	町民プールの大規模改修工事費	1.3
消防費	6億1,505万円	西はりま消防組合分担金、車両購入費、防災訓練等補助金	5.2
商工費	2億3,511万円	町商工会助成金、新規企業・創業支援事業補助金	△ 24.6
公債費	11億962万円	町債の返済	△ 5.5
その他	11億1,977万円	基金積み立て金、予備費	△ 2
合計	130億272万円		△ 7.1



令和7年度予算

ここに注目！

佐用町の令和7年度予算について、議員全員で構成する予算特別委員会を設置し、3月5日・6日の2日間で審査を行いました。（参照：P6～12）
各議員が注目した事業や項目、町の取組みについて聞いてみました。



公開型統合 GISの導入

大村 隼

人口減の中にあっても、インフラ維持は重要です。維持に伴う住民負担を出来る限り減らすため、情報管理での効率化が求められます。その実現のため、「地図」と「行政の持つ情報」を組み合わせ管理・提供する公開型統合GISを導入します。今後のための価値ある事業です。



合併20周年 記念事業

森脇 裕和

令和7年度は合併20周年の年。記念事業として28事業、約6,500万円の予算を予定している。純粋な20周年記念事業としては約2,000万円である。

記念事業としては少しいンパクトに欠けるのではないかと。特に子供の関わる事業の予算が少ないのは少し残念に思う。



合併20周年事業

幸田 勝治

人口減少の中でも、充実した豊かな生活を送ることを目指し、有識者、住民、行政の三者で縮充のまちづくり検討委員会が開催されています。合併から20年これからの縮充のまちづくり事業で、縮充のまちづくり方針に基づいて、地域全体で縮充のまちづくりを実践する地域づくり協議会への支援などの展開に注目します。



新時代への予算

高見 寛治

防災や観光で活用できる公開型統合GIS導入事業、縮充のまちづくり推進のチャレンジ事業、キャッシュレスニーズに対応するキャッシュレス決済導入事業、災害予防のための町道支障木伐採事業、多くの方が利用する町民プールの大規模改修事業などが予算化されており、新時代への予算と評価します。



合併20周年事業

大内 将広

28事業されます。皆で盛り上げて行きましょう。これを一つの糧、節目として青年の心で10年後、20年後を目指しステップアップして行こう。ホップ、ステップ、ジャンプ！！



高齢者福祉、若者、 子育て支援

金澤 孝良

人口減少が続く中でも、今後の町づくりに重要な高齢者や若者の支援・子育て支援重点を置きながら、活気を取り戻すための対策として、「縮充のまちづくり」を掲げ、住民と一体となり取組みを進めていく。

高齢者や若者、子育て支援とバランスの取れた予算である。



記念事業は妥当か？

児玉 雅善

合併 20 周年記念事業として総額 2,000 万円弱の予算が組まれています。記念誌の発行、記念式典、ひまわり祭りなどでの花火の増発などです。町長選告示直前の記念式典開催にも疑問が残ります。予算、開催時期など見直すべきです。



次世代への投資に期待

加古原 瑞樹

令和 6 年度から始めた『若者グループ応援助成事業』は、次世代を担う若者や子供たちが地域に誇りと愛着を持ち、まちづくりをしてもらうための活動を支援するもので、応募も多くありました。7 年度も引き続き一部補助内容を変更し、人材の育成を目指す事業で、縮充のまちづくりに向け重要な事業の一つだと考えます。



安定した財政運営を継続

小林 裕和

町の歳入構成は、約 20% が自主財源で、約 80% は地方交付税・国・県支出金・地方債等の依存財源で、今後もこの体系は続いていく。将来に向け、住民の安心・安全な生活を守る基盤である、社会インフラの維持に多額の予算を要することから毎年度、事務事業等の見直しで、安定した財政運営を目指す。



「縮充」とユーカリに反対

廣利 一志

新年度の予算案は「縮充」のまちづくりとユーカリ植栽の実証実験の具体的な計画を示さないまま計画を進める事に反対です。「縮充」は人口が減っても税収が減っても、町民の暮らしを充実させるという意味ですが、福祉、介護など行政の担う事を行っている社協の拠点を減らす事が分かりました。二つの点について明快な説明が必要です。



将来について思う

岡本 義次

47 都道府県で国は 75 万人の出生をみていたが 68 万人を割り、小・中学校高校も統合しないとやれなく、中小企業では人が足りず倒産企業が増えており、日本人だけの立て直しが難しい状態になっています。今国を追われて国外脱出しているミャンマーの難民を受け入れ人の足りない職場に来てもらう政策が必要。



20 周年記念

山本 幹雄

平成 17 年に旧 4 町が合併してから早 20 年。区切りの年となる今年、28 事業、関連事業費が約 2,000 万円近く予定されている。まず、10 月 5 日に記念式典の開催。記念講演に記念コンサート、花火の打ち上げや合併 20 周年記念誌の発行等。



暮らしを守る予算を

平岡 きぬゑ

住民サービスは高い方に負担は低い方にと合併し、20 年目の節目の年。縮充のまちづくりを掲げる令和 7 年度予算は、学校給食の完全無償化や第 1 子からの保育料無料化実施など子育て支援や医療・介護の住民負担軽減を求める町民のみなさんの願いに応えられているか。町の基金を活用した予算編成がされたかを暮らしを守る立場から各事業内容を質しました。



「縮充」町民の理解は

千種 和英

縮充のまちづくりに概ね賛同するが、町が目指す「充（実）」を町民が理解していないと感じる。『まちづくり（地域活動・運営）』分野での縮充は示されているが『商業』『医療・福祉』『教育』分野等における縮充の方向性は。私は提唱者（山崎亮氏）の著書に示された他分野を網羅しての縮充だと考える。

質疑

予算特別委員会

全議員による予算審査を
3月5日・6日
に開催

令和7年度、佐用町一般会計並びに特別会計予算案等10会計について、当初予算計上が堅実であるか、公平性の保持、求める成果、事業効果などを町当局に説明を求め審議しました。

委員長 小林 裕和
副委員長 大村 隼



一般会計

歳入

町税

問 町民税、個人滞納繰越分で今後の見通しと推移は。

答 令和元年度末の滞納者は127人、令和7年1月末は86人で41人減少し、良い方向に推移している。

地方譲与税

問 森林環境譲与税の見通しは。

答 原資となる森林環境税が令和6年度から課税開始され、国の譲与税額が当初見込みより増額となった。また、各基礎数値の案分率が見直され、令和6年度の実績見込みが増額となった。

負担金

問 緊急通報システムの利用者の利用状況は。

答 利用者は現在251名。近年は高齢者数の減少、施設入所者数の増加により減少しつつある。

使用料

問 使用料が各団体の負担となってきた。全額免除できないか。

答 減免措置を行っている。特に文化を育む施設は町民みんなで維持していくことが大切であり、公平な応分の負担を今後もお願いしたい。

県支出金

問 民生委員の高齢化となり手不足への対応は。

答 選出が困難な集落が多くなっている。民生委員、児童委員と民生協力委員を自治会選出でお願いしている。令和7年度は11月末に一斉改選を行い、そのための補助金を計上している。

歳出

総務費

問 定住促進支援事業助成金、いろいろな要件があり見直しをしてはどうか。

答 実情に合わせた予算として計上しており、制度の見直しは、意見を聞きながら検討したい。

問 合併20周年記念誌制作の内容は。

答 各年を1ページで年表のような形にし、町の動き、町民の動きを掲載する予定。最後に、これからの20年、30年に向けての佐用町の未来ビジョンを紙面構成にする予定。

繰入金

問 福祉など必要なものに財政調整基金を活用していく考えは。

答 現在の規模は決して多くない。これからのさまざまな事態に備えるためにも、この程度は継続して維持していく。

令和7年度 新規事業

合併20周年記念事業、公開型GIS導入事業、キャッシュレス決済導入事業
保育園・学校給食支援事業、町道支障木伐採事業、町民プール改修事業
予防接種助成事業の拡充、三日月陣屋館改修工事

問 若者グループ応援事業助成金の内容変更は。

答 学生チャレンジグループ枠の1万円では思った活動がしにくいという意見があり、令和6年度の実態を踏まえ変更した。



▲若者グループ応援事業報告会

民生費

問 高齢者福祉費、車両購入の内容は。

答 さよさよサービスの車両で、車椅子対応できる車両を購入予定。

問 子育て世帯訪問支援事業委託料の内容は。

答 児童福祉法が改正され、令和7年度から取り組む。家事や子育てに不安を抱える保護者、妊産

婦の方などの家庭に訪問支援員が訪問し、悩みを直接聞き、養育環境を整えていく。

問 久崎老人福祉センターの運営について、事業廃止を聞いたが実情はどうか。

答 佐用町社会福祉協議会が、きらめきケアセンタースタッフでデイサービスを実施しているが、利用者が減少し赤字となっている。令和7年度末に事業を廃止する予定で、貸館業務は今後協議となる。利用者には説明会を行い、個別に対応していくと聞いている。



▲久崎老人福祉センター

農林水産業費

問 野生動物防護柵設置費補助金アンケートの結果は全て反映されているのか。

答 要望の100%を予算化できていない。限られた予算の範囲内で、新たに設置するところを優先的にする。

問 農業の担い手確保補助金は何人分で予算を組んでいるのか。

答 認定農業者30件、一般の農業者70件で予算を組んでいる。

問 畜産業費、前年度比較で減額が大きい理由は。

答 畜産クラスター事業の用地取得が難航して、当初予算からは取り下げたため、減額となった。

問 林業費の前年比較での減額の要因は何か。

答 町有林化促進事業で総額を実績に合わせて減額した。また治山事業で

本位田地区で実施している事業が完了したため減額となった。

問 町有林化面積はどのくらいになるか。

答 毎年約500ヘクタールを町有林化しており、令和7年度末の予定では2,000ヘクタールになる。

衛生費

問 地球温暖化対策実行計画作成委託料はどういう計画か。

答 法律に基づき、市町村は地球温暖化対策実行計画区域施策編を策定するよう努めるとされ、環境省の補助金を活用して作成する。内容は、自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出量削減等を推進するための総合的な計画で、目標を設定し、達成するための措置を定めるもの。

町長報告

今後大きな課題となるにしまりま環境事務組合。そこで処分できない不燃物や処理困難物を処理している佐用坂の処理場も必ずいつかはなくなり、新たな処理施設を作る計画を考えなければならぬ時期に来ている。

特に、にしまりまクリーンセンターは、施設の長寿化計画を策定し、更新しなければならぬ。それに加え、たつの市の脱炭素は財政的に非常に大きな課題である。



▲にしまりまクリーンセンター

令和7年度・一般会計当初予算案 130億272万6千円
特別会計・企業会計予算案 95億885万3千円

総額 225億1,157万9千円を可決

商工費

問 因幡街道三宿連携会議負担金、現在の状況は。

答 令和5年4月から連絡会議を再スタートして、令和7年度は三宿を巡るツアーの募集などを計画している。

問 事業継続・事業承継支援補助金、昨年の事業の成果と、今後のPRの必要性は。

答 今年度は特に実績はない。兵庫県の事業承継・引継ぎ支援センターが実施している相談会やマッチング事業を積極的に周知する。

土木費

問 堆積土砂浚渫工事の内容について、地域と箇所数、選定方法は。

答 令和6年度は、上本郷自治会の添谷川で実施した。令和7年度はその下流約200mを予定している。自治会の要望と河川パトロールにより確

認し、選定する。

問 町道支障木伐採委託料は、7年度からの新規事業なのか。

答 通年支障木の撤去に300万円予算化しているが、今回は新規事業として、規模を大きくし、道路に倒木しても安全な範囲まで伐採する。



▲支障木

消防費

問 設備更新の内容について説明を。

答 兵庫衛星通信ネットワーク設備の更新費用で、通信の大容量化と通信強化等を目的に、令和7年度から8年度にかけて設備更新を行う。また、西

はりま消防の設備の充実強化に関しても、毎年かなりの大きな予算を講じて整備している。

教育費

問 学校の在り方検討委員会の開催頻度と、部活の地域移行について協議しているのか。

答 委員会は年3回程度を予定しており、佐用型連携教育を推進し、教育の質を高める方向で、将来的な学校の在り方について考えていく。佐用町学校規模適正化推進計画の見直しも含めて検討したい。

諸支出金

問 兵庫県は小中高生を対象にチケット配布をするが、万博研修旅行の現状について。

答 大阪関西万博については、校長会や保護者、子供たちの意見を聞いた結果、大型バスの高額費用や往復6時間の移動時間を考慮すると社会見学

の時間もわずかで、希望が出ていないのが実情だ。

問 陣屋館の改修工事の内容は。

答 橋脚の腐食が進行し、つけ替える予定。基本的には弱い部分に耐久性のある鉄骨を利用する。イベント開催時期には安全管理を徹底する。



▲通用御門橋

問 埼玉で道路が陥没したが、点検をしたか。

答 佐用町では、基本的に下水道管は150ミリ程度で、点検の指導はない。

結果 賛成多数 認定

特別会計

メガソーラー事業 特別会計

問 現状の売電価格はあと何年続くのか。

答 売電期間は20年で、申山は2034年、秀谷は2039年に終了する。期間終了後の方針はまだ決まっていない。

問 木の架台の定期点検は行われているのか。

答 現状では特に問題はない。架台だけを点検することはないが、全体的にパネルや電気設備、ケーブルも含めて年に1回点検している。

結果 全員賛成 認定

合併20周年記念事業 各分野で28事業を実施予定

事業増総額 1,988万5千円

国民健康保険 特別会計

問 加入者の現年分、前年度の人数と当初予算に上げられている人数は。

答 令和5年度末で3236名、令和6年12月末時点で3081名となっている。

問 出産育児一時金500万円の内容は。

答 一人あたり50万円で、これまでの実績として10人分の予算。

結果 賛成多数 認定

佐用町後期高齢者 医療特別会計

問 予算で計上されている特別徴収保険料の該当者数と、普通徴収保険料の該当者数について。

答 特別徴収が3132件、普通徴収が587件である。

結果 賛成多数 認定

佐用町介護保険 特別会計

問 頭と体の健康教室委託料、認知症予防教室委託料の内容は。

答 頭と体の健康教室は公文教育研究会学習療法センターに委託し、利用者は約5名。認知症予防教室は株式会社一期一会に委託し、20人から25人の参加がある。

結果 賛成多数 認定

西はりま天文台公園 特別会計

問 グループ用ロッジの利用促進の周知は。

答 県内の学校や各教育委員会管轄の学校に対して案内をしている。

結果 全員賛成 認定

佐用町笹ヶ丘荘 特別会計

問 笹ヶ丘荘の集客の取り組みは。

答 令和7年度開催される大阪関西万博などを含め、集客に努める。

結果 全員賛成 認定

簡易水道事業会計

問 営業収益の推移は。

答 他会計の負担金で増えているが、給水収益自体は減少している。

問 残っている石綿管の状況はどうなっているか。

答 令和7年度に新宿地内で885m、安川土井地内で727mを予定している。令和8年度以降、残りの5・3km布設替え予定だが、時間を要する。

結果 全員賛成 認定

令和7年度 予算案採決状況

○賛成 ×反対 ※議長（千種 和英）は同数以外採決に加わりません

議 案 名	大村 隼	森脇 裕和	幸田 勝治	高見 寛治	大内 将広	金澤 孝良	児玉 雅善	加古原瑞樹	小林 裕和	廣利 一志	岡本 義次	山本 幹雄	平岡きぬ糸	千種 和英	採決結果
一般会計	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	一	可決
メガソーラー事業収入特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
国民健康保険特別会計	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	一	可決
後期高齢者医療特別会計	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	一	可決
介護保険特別会計	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	一	可決
西はりま天文台公園特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
笹ヶ丘荘特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
石井財産区特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
簡易水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決
下水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	可決



合併20周年記念事業

令和7年度 予算 討論!!

賛成

社会経済に
対応し堅実な
予算案である

金澤 孝良

予算特別委員会で慎重に審議されたものであり、現状に配慮した各課題への助成・支援などの継続を適切に行われている。また合併20周年記念行事予算も組み込まれるなど、更なる佐用町の発展に期待を持たせるものである。社会経済に対応した堅実な予算であり賛成である。

賛成

現状と将来を
見据えた予算

森脇 裕和

取り崩し予算に繰り入れており町民に充実したサービスを提供できる予算案だ。

少子化対策、子育て支援事業、給食費半額補助事業など若者や子育て世代への支援、町有林化事業の継続、新規事業の公開型GIS導入事業では業務の効率化や防災での活用が期待できる。給食センターの厨房機器の更新では安心・安全な給食の提供など、現状と将来を見据えた予算編成になっている。また、一般財源の不足分は財政調整基金を取り崩し予算に繰り入れており町民に充実したサービスを提供できる予算案だ。

一般

会

計

20周年記念事業に約2000万円の予算をつけている。町民の生活支援、負担軽減に使うべきである。
町は、地方自治の精神を生かして、国の悪政の防波堤になり、住民福祉

「縮充」のまちづくりは、町長の施政方針ではっきりと言明されている通り、人口、税収が減っても町民の暮らしに影響がなく、むしろ充実させるという事だ。社協の拠点施設の

反対

基金を有効活用し、子育て支援充実を

児玉 雅善

の向上を進めるべきである。教育・子育てでは、学校給食費の無償化を実施するべきである。

反対

令和7年度
予算案に反対

廣利 一志

周辺地域の皆さんにとっても突然の説明もない「大赤字だから閉鎖」の一言は衝撃であった。

反 対

同一年収は
同一保険料負担に

児玉 雅善

かける。住民の負担、資格確認証を発行する自治体の業務も増大する。国に保険制度の抜本的改正を強く

同一年収の人は同じ保険料負担となるよう、保険制度を改めるべきである。

求め、町独自に法定外繰り入れを増額し、負担軽減に取り組むべきである。

政府は、マイナ保険証を強行しているが、病院等の窓口で戸惑っている高齢者をよく見

国民健康保険特別会計

国民健康保険制度は、重要で必要な制度。令和9年度に向けて「兵庫県国民健康保険運営方針」により、同一所得、同一保険料を目指している。これにより町内の被保険者の医療費が

急増しても、県内市町で相互扶助し合い保険税額の急激な増加を防ぐことができる。保険税算定は、所得割・均等割・平等割ともに適正に行われ、低所得者に対して軽減措置も行

賛 成

町民に必要な
保険制度

高見 寛治

われており、町民が安心して活用できる保険制度であることを期待し、賛成とする。

反 対

高齢者が
安心できる
医療制度を

平岡きぬゑ

でこの先が心配との声がある。これ以上の保険料負担増は、高齢者の健康状態の悪化につながる。国の責任

国は、子育て支援の財源を高齢者医療からも負担する方針で、今後さらに保険料が引き上げられる。

高齢者からは、実質年金が減り続ける中、物価高騰で節約の毎日

後期高齢者医療特別会計

少子高齢化で医療費の増大が進む中、保険料徴収等の事務を市、町が行い、全市町が加入する兵庫県後期高齢者医療広域連合で財政運営の広域化を行って、安心な暮らしと安定的

な維持に努めている。令和7年度予算は、一般会計から約1億600万円繰入し、総額約3億7400万円で、兵庫県後期高齢者医療広域連合に約3億6000万円を納付して安

定的に医療を受けられる予算にしている。

賛 成

安心・安定的
に医療を受け
られる予算

大内 将広

反 対

抜本的見直しで
負担軽減策を

児玉 雅善

護が誰にでも保障されるよう、介護保険制度の抜本的見直しが必要である。町は、一般会計の繰り入れを拡充す

政府は訪問介護などの基本報酬を引き下げ、多くの訪問介護事業所が赤字の状態が続き、倒産や閉鎖する事業所が増え、利用者の負担も増大している。

るなど住民の負担軽減策をとるべきである。

必要な時に、必要な介

介護保険特別会計

介護保険は、社会全体で支えていく大切な事業制度であり、運用から24年が経過し、佐用町では、高齢者の4人に1人程の割合で介護保険サービスを利用している。

令和7年度予算では、一般会計から4億8763万の繰入及び基金から3698万の繰入有効活用を計り、低所得者保険料軽減の対応も取られており、町民が安心できる介護保険サービスの運営を要望する。

賛 成

基金の有効活用で
安心な介護保険制度
の運営

幸田 勝治

町民に寄り添う白熱した議論

報告

損害賠償の額を決め和解

上月第8分団の消防車両が分団の車庫のシャッターに接触し、一部損傷したため損害額を賠償し和解。

承認

専決処分の承認

令和6年度一般会計補正予算 第7号

物価高騰対策として、住民税非課税世帯を対象に、一世帯当たり3万円、18歳以下の子供一人当たり2万円の給付金を支給。

■結果 全員賛成 可決

財産の無償貸付

旧利神小学校跡地

(株)シャパンインベストメントアドバイザーに

グラウンドの一部を追加で無償貸付するもの。

■結果 賛成多数 可決

旧瓜生原邸

旧瓜生原邸を平福文化と観光の会に引き続き無償貸付するもの。



▲瓜生原邸

■結果 賛成多数 可決

ゆう・あい・いしい跡

みどりの健康舎ゆう・あい・いしい跡地施設をNPO法人 カ人(理事長 平井秀和)に無償貸付するもの。障がい者を対象としたグループホームとして活用する予定。

■結果 賛成多数 可決

議案

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定

奥海と庵地区における道路橋梁修繕事業の財源として、辺地対策事業債を充てるため策定するもの。

■結果 全員賛成 可決

辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更
策定済みの13の辺地で計画の変更を行うもの。

■結果 全員賛成 可決

第4期佐用町教育振興基本計画の策定

(総務常任委員会付託 詳細はP28参照)

■結果 全員賛成 可決

第3期佐用町子ども・子育て支援事業計画の策定

(産業厚生常任委員会付託)

託 詳細はP28参照)

■結果 全員賛成 可決

町道路線の変更(2路線)と認定(1路線)

(産業厚生常任委員会付託 詳細はP28参照)

■結果 全員賛成 可決

工事請負契約の変更

上月文化会館等解体撤去・周辺整備工事

アスベスト除去箇所の増加と周辺の下水道管布設替えの追加工事のため887万7000円の増額変更。

■結果 全員賛成 可決

南光文化センター大規模改造工事

外壁タイルモルタル劣化部の保守箇所の追加、駐車場アスファルト舗装ラインの追加工事などに

より1297万6700円の増額変更。

■結果 全員賛成 可決

味わいの里三日月改修工事(みそ加工所新設)

室内で資材や荷物の運搬にフォークリフトを使用するためにクレーン等の耐荷重を向上させたため607万8600円の増額変更。

■結果 全員賛成 可決

味わいの里三日月改修工事(惣菜等加工所新設)

地盤改良工事の追加などのため780万4500円の増額変更。

■結果 全員賛成 可決



▲竣工間近の惣菜等加工所

道の駅宿場町ひらふく 改修工事

工事費約1900万円の増額で、総額6872万8000円となります。

■結果 全員賛成 可決

条例

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正

職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正

職員の給与に関する条例等の一部を改正

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正

一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正

条例改正の5案件は、

いずれも、人事院勧告による法令改正に準拠して処遇改善するための改正。

■結果 全員賛成 可決

消防団条例の一部を改正

消防団員が減少し今後も定員を確保する見込みがないため、定員を750人から700人に改正。

■結果 全員賛成 可決

消防団員等公務災害補償条例の一部を改正

消防団員等が公務で死亡・負傷した場合等の損害補償基礎額の改正。

■結果 全員賛成 可決

非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正

退職報奨金の支給勤務年数を、現行、30年以上35年末満を、新たに35年以上を加える。

■結果 全員賛成 可決

南光文化センター条例の一部を改正

南光文化センター大規模改造工事による室名等の変更。

■結果 全員賛成 可決



▲大規模改修が完成。明るくなった南光文化センター

手数料条例の一部を改正

確定測量成果の写しについての交付手数料、これまで他の項目を準用していたが、明確にして手数料を徴収する。

■結果 全員賛成 可決

長寿祝金及び百歳祝金支給条例の一部を改正

他市町村からの町内介護保険施設への転入者の増加に対し、支給要件の

見直し。

■結果 全員賛成 可決

空き家等の適切な管理に関する条例の制定

(産業厚生常任委員会付託 詳細はP28参照)

■結果 全員賛成 可決

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正

新たに設置する「学校の在り方検討委員会」、「佐用町空家等対策協議会」の委員、学識経験者の報酬を新たに定め、小中学校・保育園の嘱託医の報酬も改めるもの。

■結果 全員賛成 可決

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する

る条例の制定

上位法令の改正に伴う改正。

反対討論

平岡 きぬる 議員

条例改正は、マイナンバー法改正に伴うもので、社会保障、税、災害対策限定から、すべての行政分野において推進。

保険証廃止・マイナ保険証強要によって、国民皆保険制度の崩壊を招くこと。公金受取口座を本人から不同意の表明がなければ自動的にマイナンバーと紐づける。戸籍等の記載事項に、氏名のフリガナを追加し、今後生まれてくる子の名前は「一般に認められている読み方」に限定する、内容まで盛り込まれている。

■結果 賛成多数 可決

補正予算

令和6年度一般会計補正予算案

歳出では畜産業費で、

畜産クラスター事業の用地取得の難航等により4億4620万円余りの減額など、総額で7億5948万9000円の減額補正。

■結果 全員賛成 可決

同意

教育委員会教育長の任命に同意しました。

大森 一繁 氏(小山)

■任期は前任者の残任期間で令和9年9月30日まで。

監査委員の選任に同意しました。

中井 幹夫 氏(須安)

■任期は4年



10人の議員が斬りこむ

町政のことが聞きたい

3月12・13日、10人の議員が町政をたどしました。

●大村 隼 議員	16
1 子どもたちのよりよい教育環境のために	
●廣利一志 議員	17
1 町長の施政方針、発言の検証を	
●高見寛治 議員	18
1 災害に強いまちづくりの取り組みについて	
●加古原瑞樹 議員	19
1 急激な人口減少への対策を。～縮充のまちづくりへの方向性は～	
●岡本義次 議員	20
1 災害対策（地震）等に対する備えは出来ているのか	
2 姫新線の存続に対して	
●金澤孝良 議員	21
1 旧利神小学校の貸付後の状況は	
2 県道の拡幅計画は進んでいるのか	
3 給食費の無償化の考えに変わりはないのか	
●平岡きぬゑ 議員	22
1 財政調整基金の有効活用	
2 三土中学校跡地・学び舎農園事業	
●山本幹雄 議員	23
1 JIA におけるユークリ植樹について伺う	
●児玉雅善 議員	24
1 指定避難所の環境と器財・物資の備蓄の状況について	
2 史跡利神城跡の整備について	
3 道の駅ひらふくの駐車場について	
●大内将広 議員	25
1 学校体育館の空調設備推進を	
2 ひょうご農林機構（旧みどり公社）と町内山主の分収造林契約及び佐用町と町内山主の分収造林契約について	
3 認知症の人に寄り添った地域社会の構築を	

※記事および写真は質問をした議員から提出されたものです。質問・答弁の全文は後日会議録としてホームページに掲載しますのでご覧ください。なお、掲載順は毎回くじ引きで決めています。
※各議員のページのQRコードから、一般質問の動画が視聴できます。（動画は約1年間視聴できます。）

みなさんとの意見交換については



おおむら はやと
大村 隼 議員



教育長——意見交換の機会を増やしていきたい

問 今後、子どもたちの教育環境をよりよくしていくために、住民や保護者と気軽に意見交換できる場所について、どう考えるか。また、あり方についてはどう実現するか。

教育長 地域住民や保護者の意見を反映していくことが必要であり重要だと考えている。

問 令和7年度から始めるコミュニティスクール推進の中で、あり方を計画に盛り込んでいきたい。

コミュニティスクー

課長 子どもたちの成長を、学校と地域・保護者が一緒になって社会で支えていこうという制度。佐用小・佐用中・上月地域・南光地域・三日月地域で行う予定。現在、各地域でコーディネータと委員の選出がされている。これから各地域で協議が始まっていく。知名度が低いのは感じている。

問 子どもたちの意見交換、そしてその成果は。

教育長 校則や、制服などについての意見交換で生徒が自らの意見を積極的に述べられるような取り組みを進めている。佐用町型連携教育の中で小中連携や小小・中中連携の機会を捉え、児童生徒同士で意見交換する場を増やしていく。多様な考え方や価値観に触れられるようにしていきたい。

成果としては、校則の見直し、ツープロップの髪型を認めるようにしたなどがある。

問 双方向の働きかけが重要であると思うが、子どもたちから地域への働きかけについては。

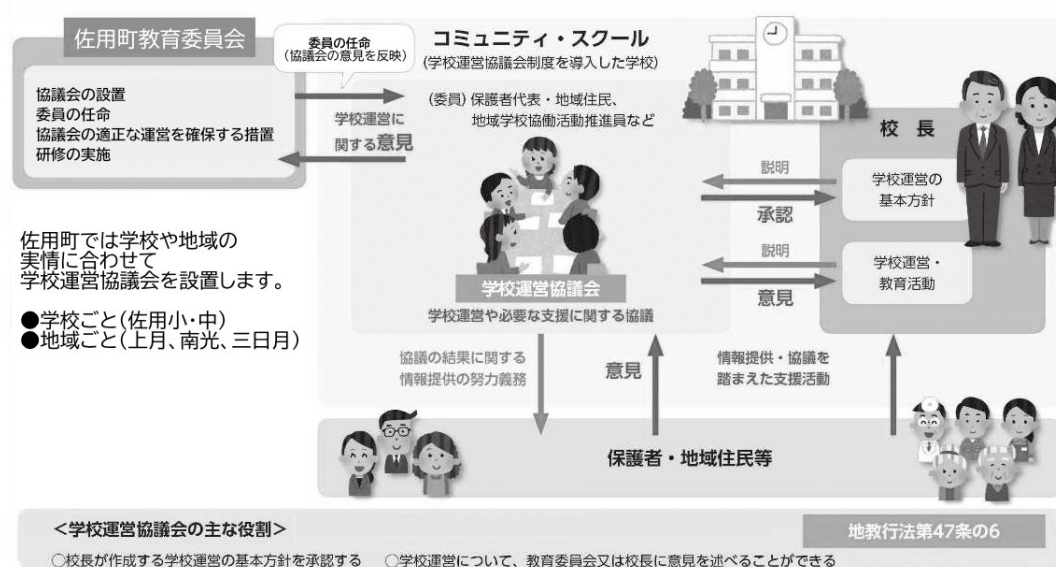
教育長 コミュニティスクールを進めていく中で、そういう場を設けていきたい。

問 情報公開のあり方に関してだが、教育委員会で、佐用町立学校の在り方検討委員会についてなど、重要な話し合いがなされ、議事録のホームページでの公開は行われている。一段進んで要約の

公開など、拡充に取り組めないか。

課長 現状、議事録の公開にとどまっている。コミュニティスクールや佐

用町立学校の在り方検討委員会など重要な議題もあり、今後工夫していく。



町長の施政方針、言動の検証を

町長 ― 検証をして頂ければ結構かと思う



ひろかが かずし

廣利 一志 議員



問 ユーカリ
植栽による環
境の変化、特
に水質検査、



▲上月支所でのユーカリシンポジウムの模様

問 「縮充のまちづくり」の検討委員会、ミライカイギは所期の任務を果たしたのか。

町長 「縮充のまちづくり」の一定の指針作成に検討委員会は有識者、住民代表、役場職員の三者で構成し、検討を重ねて頂いている。各立場からの熱心に話し合って頂いた意見、考えは来年度からの取り組みへと繋げ、令和9年度から始まる第3次総合計画のベースにしたいと考えている。

の将来について活発な活動を期待している。

問 若者にとって佐用町は魅力ある自治体なのか、役場に勤務してこの5年以内で退職した職員が何人なのか把握されているか。

町長 佐用町に魅力がないという事ではなく家庭事情等で7名程度。

問 令和元年採用9名うち4名退職、令和2年採用10名うち2名退職、令



▲「縮充」で脚光の社協の子育て広場

和3年採用12名うち1名退職、令和4年採用19名うち3名退職、令和5年採用9名うち1名退職。

採用後の希望職種についてヒアリングなどの実施状況は。

副町長 希望に沿えるよう配慮している。年に1度各課長、室長を対象に人事ヒアリングを実施している。各課の業務の状況、職員の勤務状況などをヒアリングしている。

問 森林再生は50年、60年先の話で詳細な計画は出せないがユーカリ植栽の共同事業の計画はきちんと示すべき。

町長 森林再生はユーカリ事業だけでは出来ないが、再生への道筋を探りたい。

JIAの事業に対して協力したり、町として支援をやらせて頂く。

土壌検査、また生態系の変化については植栽を始める前、途中段階と環境の変化の状況をやるべきでは。

町長 化学物質を排出する工場等の場合の環境調査はやっているが、植林では環境影響調査をやった例を聞いた事がない。

災害に強いまちづくりの取り組みは



たかみ かんじ
高見 寛治 議員



町長―住民が「わがこと意識」を持ち実践する

問 毎年全国各地で、豪雨災害の頻発に加え、南海トラフ巨大地震も30年以内の発生確率が80%に引き上げられた。佐用町も台風第9号災害から16年目を迎える。災害に対応できるまちづくりが必要と思うがどうか。

町長 自主防災組織の活動を支援し住民が「わがこと意識」を持ち、自助・共助が実践できるよう努力している。

問 地域防災計画の改訂状況はどうか。

町長 佐用町地域防災計画の風水害編、地震編・大規模事故編、国民保護計画、水防計画、業務継続計画、災害時受援計画の各計画について、令和6年度末での改定を進めている。国民保護協議会等の意見を聞き調整している。

問 災害の経験と教訓を生かす取り組み状況は。

町長 大水害の経験と教訓を生かすとともに、地震等のあらゆる災害を想定し限りある人員や施設

等を最大限活用しながら的確な災害対策を実施できる体制整備を進めている。職員にも各部署で平時からの備えと確認を行うよう指示をしている。災害以後、防災まちあるきを実施し、小学4年生の教科書に、その取り組みが紹介された。

また、水害の恐ろしさを将来に伝えていくために平成21年災害のモニュメントを建て、国土地理院のHPに掲載されている。

問 地域ごとの防災研修会の実施状況は。

町長 地域づくり協議会においては、それぞれの活動の中で防災研修や訓練を実施している。令和6年3月には、ひょうご地域防災サポート隊による防災講演会が開催された。

問 コミュニティ強化で築く防災のまちづくりは。

町長 町では、自治会や自主防災組織の訓練や資機材の購入に対して助成を行っている。



▲防災まちあるき

また防災士を中心に、平成30年に組織された防災リーダー連絡会では、毎月行っている定例会のほか、町内外の研修やイベントに参加されるメンバーのスキルアップにも取り組まれている。

急激な人口減少への対策を

町長 — 必要な工夫や取捨選択を行い取り組む



かこはら みずき

加古原瑞樹 議員



問 本町は消滅可能性自治体に位置付けられているが、人口の現状と今後の予測は。

町長 1月末で1万4683人。2040年に9746人になる見込み。

問 縮充のまちづくりの周知は。

町長 講演会やミライカイギ、出前講座を開催し、町民と共に未来を考える。国のウェルビーイング指標の活用は。

課長 政策の効果的な展開を図れて、縮充のまちづくりにも有効活用する。『縮』に対する危機感を共有すべきでは。

課長 作成している冊子

を活用し、正確に情報発信を行い共有していく。

問 人探しや火災時に、ドローンを活用しては。

町長 今年度の成約数は15件。空き家バンク登録物件41軒は過去最高。

問 住民の方に空き家利活用への周知は。

課長 佐用チャンネルや広報で、住民の関心を高める情報発信を継続する。

問 消防団の現状と装備についてどう考えるのか。

町長 令和7年度は40人減少し700人を下回る見込み。分団統合を進め、オートマ限定免許対応や、狭小地対応の小型車両導入を検討。

問 インフラの長寿命化対策は。

町長 老朽化に備え、予防保全を実施。財政や人員の課題に対応し、施設の統廃合・機能集約化を進める。

問 上下水道の老朽化対策に衛星調査の活用は。

課長 県的主導で実施している。国庫補助を活用し、効率的な点検・補修を進めていく。

問 地域医療の維持・強化が喫緊の課題では。

町長 医療機関との連携を強化し、圏域で医療を確保。地域医療の持続可能な仕組みづくりが課題。今後オンライン診療

も必要ではないか。

町長 医師の確保が難しい中、オンライン診療の研究も検討する。地域医療の新たな形を模索する。



▲田舎暮らしの本（全国ランキング7位に）



▲ドローンの赤外線カメラは暗闇でも有効

地震に対する備えはできているか

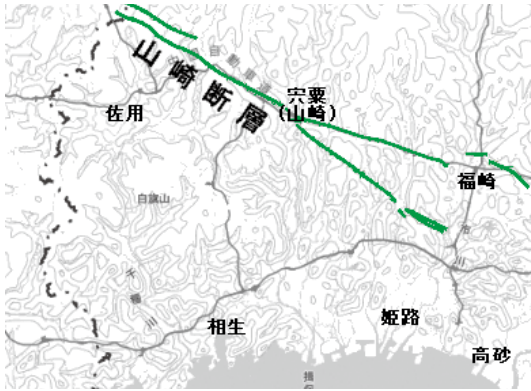
町長——上下水道管の耐震化を推進

問 集落内避難場所の指定は指示しているのか。

町長 集落内の避難場所等については「一時避難所」として各自治会で指定をしていただいている。また、自治会へ一時避難所用の看板を配布している。

問 地震が起き、山の崩落や上下水道の損傷が起きた時への各課の備えはできているのか。

町長 水道管の更新工事は、地震の際でも継ぎ目の接合部分が離脱しない



▲中国道沿線に山崎断層があり気をつけて

構造の耐震管に更新している。また、耐震適合性

のある管を含んだ耐震化率は約60%。山地崩落によって町道の

通行に支障が起きた際には、年間契約している緊急業者へ土砂撤去等の作業を依頼する。



おかもと よしつぐ

岡本 義次 議員



姫新線の存続に對して

問 人間歳を取ると自動車にも自転車も乗れなくなり、姫路の病院や買物に行く際に、列車がなければ行くこともできない。絶対残してもらわんとあかんし、昼間の一時間に一本は列車を走らせてほしい。

町長 JR西日本や兵庫県、沿線自治体の姫路市、たつの市と「姫新線利用促進・活性化同盟会」

を組織して姫新線の利用促進、存続に努めている。また、同盟会では年に1回、JR西日本に対する要望会を開催し、利用者の利便性向上のため、増便などについての要望活動も行っている。

問 四国には車両からタイヤが出て、線路から外れてバスのような車両がある。佐用町もそのような車両を購入できないのか。

町長 鉄道車両として改造されたバス車両（DMV）を導入された阿佐海岸鉄道は、第3セクターであり、短距離路線のため実施できた取組みと考える。姫新線とは全く状況が異なるため、新たに多額の費用を投入することとは考えられない。



▲姫新線は絶対残さんとアカン

県道上三河平福線の拡幅予定はあるのか

町長 — 智頭線高架下からのバイパス計画だ



かなざわ たかよし

金澤 孝良 議員



問 県道上三河平福線（443号）は現在朝霧園跡の下より上庵まで2車線で整備された道路だが、智頭線高架下付近と上庵から三河までの間が未整備である。拡幅の計画はあるのか。

町長 全線の拡幅計画はないが、智頭線高架下付近から朝霧園跡の下までの間は現状での拡幅は無理なので自動車学校跡の太陽光発電施設の一部を買収し、バイパスの計画を県土木が考えている。地元の方も了解していた

だいている。
問 完全な拡幅でなくとも1mぐらい拡幅して、現状のところを通行すればよいのではないか。
町長 部分改修ではなく規格に応じた県道にするために県土木は計画をしている。



▲平福県道智頭急行高架下付近

旧利神小学校跡の貸付後のJIA社事業の進捗状況は

問 JIA社に貸付けを行って1年が経過するが、ユーカリの植栽事業は進んでいるのか。また、他の事業も進んでいるのか。
町長 植栽実験は順調に進んでいるが、苗木の栽培が昨年の猛暑で生育がうまくいかなかったようだ。ハウス栽培での高温が原因のようであり、今年は運動場を利用し露地栽培を計画されている。

今はユーカリ植栽に重点を置かれているので他

の事業については行われていない。



▲JA社のユーカリ育苗ハウス

給食費の無償化について

問 今まで何回か給食費の無償化についての質問をしたが、答弁は半額助成をどこよりも早く行っているし、食材補助も取り入れているので、残額は保護者の責任として負担してもらうのが好ましいとのことであるが、高校の授業料の無償化の話

題が上がっている社会情

勢のなか、思い切った決断をする時期であると思うがどう思われるか。
町長 幼児、児童、生徒への支援はあらゆる面で佐用町独自に行っている給食費の無償化についての考えは変わらないが、政府が小学校については令和8年度以降に無償化を取り入れると言われている国の動向に注視していきたい。

住民要求に財政調整基金の活用を



ひらおか
平岡きぬる 議員



町長——合併特例債を活用、基金に積み立てた

問 町の財政調整基金を、暮らし・教育・福祉などに活用を求める。

町長 合併特例債を有効活用し、結果的に積み立ててきた。水道料金は10年先まで値上げはしない。広域ごみ処理施設など課題がある。

副町長 基金は、上下水道会計に繰り入れたことで減少している。

問 補聴器購入助成は、聴力低下による認知症やフレイルの進行を予防し、社会参加や地域交流の促

進を図ることを目的に2024年兵庫県では7市町が新たに導入し、15市町が独自に助成をする。

町独自の補聴器購入助成を求める。

町長 身体障がい認定をとって手厚い制度を使っ

問 保育料は第一子のみ有料だ。無償化の考えは、

町長 無償化するとは答えられない。

問 学校給食費の完全無償化実施と給食食材の地

産地消をすすめ、地域農業の振興を求める。

町長 半額助成制度は継続する。

副町長 国は令和8年度以降、小学校

を対象に無償化を検討するようだ。

課長 食材は、数量をまとめて準備しても

らうため、法人など団体と

問 生理用品



▲上郡町高田小学校高学年女子トイレに生理用品を設置

を六栗市ではすでに学校のトイレに配置している。

よかったことや課題を聞くことはすぐできるので

町長 学校現場の声であり予算的にしないのではない。

教育長 忘れた原因をあらゆる機会にとらえて指導、悩みを相談できるようにしている。

三土中学校跡地・まなび舎農園事業

問 校区の住民に、経過と今後の計画について説明の場が必要だ。

町長 令和6年3月で休止した。昨年9月の報告は、今後貸し出しが最も

有力な方法として、農業関係者の意見・提案を事前に調査し、条件設定し

公募する。方向性が決ま

課長 現在実施要綱を作

成中で、2026年末までに活用を決定する。



▲三土中学校跡地・まなび舎農園

ユーカリ植樹について

町長 — 知りたい方は農林振興課まで



やまもと みきお

山本 幹雄

議員



問 J・Aが植樹・栽培するが全容が分かりづらい。町当局は広く町民に情報を提供する義務がある。そこで次の8点について伺う。

1. 佐用坂の伐採費用はいかほどか。
2. 植樹される流域の現状把握はできているのか。
3. 実証実験のための東京農工大学の先生の来町頻度は。
4. 令和7年1回目の区切りとなるがその時の説明会は。
5. 実証実験における役場の担当は農林振興課で良いのか。
6. バイオマス発電所は

どこにあるのか。

7. 森林ビジョンでは歴史環境や美しい景観は町民の地域に対する愛着を産む絶好の素材だと謳っているがその文言に抵触しないか。
8. 旧利神小学校の1階玄関横の部屋に夜間照明がついている。住民が不審に思っている。理由は何か。

町長 問1について、伐採、搬出の委託料と木材の売上金で相殺されており、費用は発生していない。問2については、東京農工大学で土壌のサンプルを分析していただいている。問3について、月に一度は担当されている先生にお越しいただき、現状の把握などをされている。問4について、昨年3月に説明会を開催、町広報にも掲載された。また近いうちに生育状況などを広報でお知らせしたい。問5について、担当は農林振興課。問6について、バイオマス発電所は赤穂の㈱日本海水が運営されているバイオマス発電所がある。問7について、何が理念に抵触しているのかわからない。問8について、室内は育苗実験のためLED照明を点灯している。タイム1で夜10時には消灯する

問 ようになっている。

課長 R7年での植栽場所面積、本数、品種などはどうなっているのか。

0・2ha 14種500本、皆田内、民有地で0・3ha 2種600本を植栽している。



▲佐用坂に植栽されたユーカリの苗

指定避難所の立地と備蓄の状況は



こだま まさよし
児玉 雅善 議員



町長―必要な物資を各避難所に備蓄している

問 トイレや間仕切り、段ボールベッドなどの備えは。

町長 自動密閉処理する簡易トイレを避難所に備えている。ベッドなどの

段ボール製品はメーカー二社と支援に関する協定を締結している。

問 水や食料の備蓄の状況は。

町長 ペットボトル、アルファ化米や粉ミルクなどを備蓄している。その他物資の確保は（株）フジ、NPO法人コメリ災害対策センター、コープこづの三者と協定を締結して支援していただく。

利神城跡の整備について

問 公有地化に向けた説明がないので不安を抱いている住民もいる。住民に対して、現状や今後の方針などを説明する機会を持つべきではないか。

教育長 広報活動の一環として、「利神城かわら版」をホームページに掲載し、最新の情報を発信している。整備基本計画策定後に講演会などを開催する。昨年10月に所有者を対

象に説明会を実施し、8年度からの用地取得に向け、対象者の意向確認を進めている。

問 買収後は草刈りなどの管理はどうなるのか。

課長 平地の部分については、できるだけ管理がかららないような方策を考えたい。

道の駅駐車場について

問 新駐車場の予定地は、粘土質で大変な難工事となっている。予定地は粘土質であることが担当課には伝えておいたが、事前の地質調査は行わなかったのか。

町長 建物を建てるわけなのでボーリング調査はやらなかった。

問 駐車場の南側の町道、少し拡幅されたが拡幅部分に電柱が残ったままになっ

ている。国道から入ってすぐのところで危険だ。移設するべきでは。

町長 移設する場合は町の負担となり、大変な費用が掛かる。

問 特に夜間はわかりにくい、安全対策は。

課長 電柱の前に安全ポールを立てるとか、反射板や街灯をつけるなど、建設課と一緒に安全対策を図っていききたい。

指定緊急避難場所及び指定避難所一覧表

地域	公共施設名	所在地	電話番号	収容人員（人）	備蓄物資	備考
佐用	佐用小学校体育館	佐用287番地	82-2824	235	○	町民プール含む 崩壊土砂流出危険区域
	利神体育館	口長谷834番地	83-2100	220	○	
	江川体育館	豊福275番地2	84-0002	198	○	土砂災害警戒区域
上月	暮山体育館	本郷553番地3	87-0002	96	○	※旧校舎 (山腹崩落危険区域)
	上月小学校体育館	上月861番地	86-0029	200	○	
	久崎体育館	久崎50番地1	88-0016	187	○	浸水想定区域 土砂災害警戒区域
南光	中安体育館	米田113番地	78-0030	228	○	浸水想定区域
	南光小学校	西徳久1112番地1	78-0038	238	○	土砂災害警戒区域
	三河体育館	上三河87番地1	77-0004	227	○	土砂災害警戒区域
三日月	三日月中学校体育館	乃井野1700番地	79-2013	251	○	※校舎 (土砂災害警戒区域)
計	10箇所					

・地震時は、指定緊急避難場所をグラウンドとし、施設の安全が確認後指定避難所として使用する。

・網掛けは浸水想定区域及び土砂災害警戒区域

（ほかに安全な施設がないため指定緊急避難場所及び指定避難所とする。ただし、避難勧告や土砂災害警

○は備蓄物資等の保管有



▲拡幅後の町道に残る電柱と工事が進む新駐車場

学校体育館の空調設備推進を

町長 — 現時点で明確な返答は出来ない



おおうち まさひろ

大内 将広 議員



問 夏場、体育館が暑いので使えないのではないのか。

町長 熱中症対策として窓の開放、大型扇風機で空気循環を行い、温度が高い時は熱中症指数計で判断している。これまでに中止はない。

問 体育館は教育の場、避難所として空調設備が必要では。

町長 エネルギー効率の向上、環境負荷の低減、維持経費など総合的な判断が必要で、現時点では明確な返答が出来ない。学校の在り方検討委員会の中で、避難所も検討して行く。



▲姫路市安室小学校体育館空調設備

兵庫農林機構と分収造林契約について

問 佐用町内の公社造林の件数、面積、分収率は。

町長 件数は83件、面積890ha、分収率は契約当初、所有者4割、平成24年から、全ての契約地

で所有者2割になっている。

問 公社分収事業が破綻して、契約が解約されることのないのか。

町長 県で新たな森林管理スキームを検討中、内容は、収益の見込まれる山は民間経営に、収益の

見込まれない山は、自治体を中心とした公的管理に移行する。

問 町公造林の件数、面積、分収率、間伐で収入の得られる契約地は。

町長 件数62件、面積250ha、分収率は、所有者4割で変更していない。



▲豊福地域の分収森林

認知症の人に寄り添った地域社会の構築

問 認知症に関する知識および理解を深める取り組みは。

町長 認知症サポーター育成講座、認知症カフェ、チームオレンジの推進。町広報紙へ理解を求める記事掲載、リーフレット配布、図書館での書籍コーナー、ポスターなど広く取り組んでいる。令和6年度、新たな181人が認知症サポーターに登録している。

間伐事業は、国、県、町単独事業の補助金で、事業収入が赤字にならないように、地元負担が少なく少額であるが山主さんにお返しできている。

委員会の動き

総務常任委員会 (1/23-24、2/21) 産業厚生常任委員会 (1/17、2/12)

総務常任委員会

委員長 廣利 一志

令和6年度事業の進捗状況及び指定事業の現状について

所管課から現状の説明を受け、調査を行いました。

企画防災課

問 ウイング神姫の件、宍粟市の協議会参加要請などはあるのか。

答 宍粟市の公共交通会議にオブザーバー参加している。本町の負担が増えないよう意見する。

問 縮充戦略アドバイザーを設けた成果は。

答 他の事例や専門的な立場から良いアドバイスをもらっている。

教育課

問 学校図書室に司書を

置く計画は。

答 図書館の司書が学校を回って指導している。

問 利神城同様に上月城の木の伐採に専門家の指導はないのか。

答 利神城は史跡の関係上、国、県の許可が必要なので違いがある。

総務課

問 公共施設等適正化事業債の件、対象事業費はいくらで充当率、交付税参入はいくらか。

答 充当率は90%、交付税参入は50%ということで45%が普通交付税として入ってくる。

他に、情報政策課・税務課・生涯学習課・支所から説明を受けました。

産業厚生常任委員会

委員長 高見 寛治

有害鳥獣対策、耕作放棄地対策、担い手支援の状況について

農林振興課の説明を受け、調査を行いました。

有害鳥獣対策

防護柵等の設置補助金の対象は、自治会及び農会単位で、10万円以上の設置に要する材料費が対象になり(個人は対象外)、令和5年度は総額約2500万円、令和6年度もほぼ同様の実績見込でした。

サルの被害対策

追い払い活動の支援として、煙火類(轟音玉等)の無償譲渡や爆音機の無償貸与を行っており、使用に必要な講習受講費も全額補助をしている。今

後は、地域おこし協力隊員も捕獲・追い払い活動や見回りを行い被害の低減を目指す。

ツキノワグマの被害対策

12月末時点で59件目撃され、去年の1・5倍で、南部でも確認されています。町内7地区で捕獲を試みましたが、周辺に出

現したが捕獲できなかった。今後は、専門家の助言で、設置場所や誘引餌の設置方法を精査していく。

耕作放棄地対策

多面的機能支払交付金事業と中山間地域等直接支払推進事業があり、それぞれ目的に応じた集落を対象に補助を行い、農地の適切な維持管理を行ってもらっています。

また、各種補助金や「さよふ農の匠」など、農業の担い手、特産品の奨励、規模の拡大などを図っている。

味わいの里三日月みそ加工所と惣菜等加工所新築工事の進捗状況について

新築工事の進捗状況について調査しました。

令和5年度に農産物直売所・レストランを整備。令和6年度みそ加工施設と、惣菜加工施設の建築を行い、令和7年度は三日月と上月の旧加工施設を除却する予定との説明を受けました。(上月のみそ貯蔵施設は残す)



▲味わいの里三日月

みぞ加工所は、床面積864・21㎡、鉄骨造。工事費は約6億5100万円で、国の地理的表示保護制度（Gマーク）に登録された佐用もち大豆を原料にしたみぞを製造します。厳しい衛生管理基準（HACCP）に適合した構造となっています。

惣菜等加工所は、495・56㎡、鉄骨造。工事費は約4億3400万円で、特産品を使った、豆腐、もち、漬物、菓子・惣菜の加工室をそれぞれ独立した加工室を配置しこの施設もHACCPに適合した構造となっています。

施設完成後は、直売所の品揃えも充実し、本格的に味わいの里三日月がスタートすると説明を受けました。

視察研修

1月23日、24日 総務常任委員会
静岡県掛川市・浜松市

学校部活動の地域移行 （掛川市）

掛川市教育委員会から説明を受けました。

令和8年度に部活動を廃止し、「かけがわ地域クラブ」として、スポーツ・文化活動を行える環境整備を進めている。

生徒数の減少により単独チームの維持が難しい部活動が出てきている。

令和3年に中学校区での小学3年生く小学6年生を対象にしたアンケートでは、47%の児童が取り組みたい種目がないという結果になった。

今後の対策としては、
1 市民団体による多種多様な地域クラブの創設を支援。

2 就学援助、企業協賛のしくみとクラブの活動拠点を準備・調整したい。
3 令和7年で各種目において体験会を実施予定。

問 かけがわ地域クラブ

はあくまで中学生が対象か。

答 全年齢が対象だが、中学生がメイン。高校も部活が少なくなっているので水泳等と一緒に出来ないか考えているところ。

問 離れた地域での活動で子の移動は。

答 移動が一番の課題。基本的に習い事の一つと考えているので通える範囲でお願いしている。

問 指導者の養成は。

答 3つの研修を基本としている。ハラスメントや熱中症とかの安全面を実施している。各種目については協会の方をお願いしている。

問 行政からの補助は。

答 ボランティアだと責任があいまいになるし、次の指導者見つからなくなる。子どもたちから会費を頂くように指導している。用具や大会参加費等を行政として支援できればと考えている。

本社にて利用客の増加に向けた取り組み、イベントの開催などの説明を受け、敷地内にある転車台、ラッピングされた列車などを見学しました。

令和6年度く令和10年度の経営計画で県及び沿線6自治体から約27億5000万円の支援を受ける予定です。

エヴァンゲリオン、ゆるキャンの聖地として人



▲掛川市

天竜浜名湖鉄道株 （浜松市）

気が定着し、ラッピング列車を多く走らせて広告収入を得ています。

問 列車を使ったイベントはあったのか。

答 ビール列車や沿線自治体と協力して「地酒列車」もやりました。

問 フェスタの内容は。

答 転車台やジオラマの見学。列車の洗車も行っている。

問 高校の再編の影響は。

答 生徒が1つの駅に集中するようになったが、悪い影響はさほどない。



▲天竜浜名湖鉄道

委員会付託案件の審査報告

(P 13,14 関連記事)

総務常任委員会 (3/7 開催)

産業厚生常任委員会 (3/11 開催)

総務常任委員会

委員長 廣利 一志

第4期佐用町教育振興基本計画の策定

この計画は第1期は平成23年3月、その後5年ごとに見直しを行い、今回が第4期目の策定で、令和7年度から5力年を期間とする計画です。

学校規模適正化については、学校の在り方検討委員会を立ち上げ、協議を行います。

問 多様性の尊重と包摂性の教育の推進で地域の方々の理解をどう進めていくか。

答 コミュニティスクールの取り組みが重要になってくる。地域の多くの方たちにコミュニティスクールの学校運営協議会の委員になって頂き地域との連携を強化充実させていく。

問 部活動の地域移行をどう進めていくのか。

答 子供たちの意向を重視してアンケートを行う予定。学校の在り方検討と合わせてスポーツ協会、文化協会等と協議を進める方向で考えている。

問 兵庫型「キャリア教育」の内容と特色は。

答 小学5年生が行っている自然学校、中学2年生のトライやるウィーク。重要な施策なので第4期においても重要視して進めていく。

討論なし

■結果 全員賛成 可決

産業厚生常任委員会

委員長 高見 寛治

第3期佐用町子ども・子育て支援事業計画の策定

令和7年度から5力年の推進期間の第3期計画が策定されました。

策定に当たり就学前児童の保護者と小学校の保護者686人小学4年生から6年生266人に、

子育て支援に関するニーズ調査を行い、結果を集約して計画に反映されています。

今回の計画で追加・変更した主なものは、子育て世帯訪問支援事業、妊娠等包括相談支援事業、産後ケア事業、乳児等通園支援事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業などがあります。

問 アンケート結果を踏まえて、計画に反映したことはあるか。

答 安心して過ごせる居場所づくりが求められている。子ども食堂やこいの広場などを利用し、心から安心して過ごせる場所を提供していく。

また、いろいろな問題を抱えている子供たちがいることが理解出来た。

子育て世帯訪問支援事業は、家事等で困っている世帯や育児のことで問題を抱えている世帯を訪問して支援する事業。これ

らを活用して支援をしていきたい。

討論なし

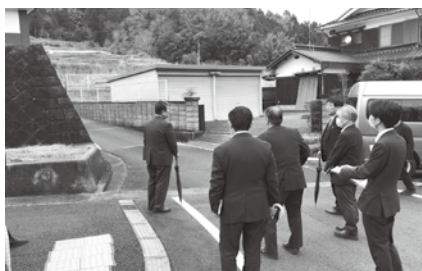
■結果 全員賛成 可決

町道路線の変更（2路線）と認定（1路線）

佐用地域山田地内の町道東ノ前線と三日月地域島脇地内本谷2号線の現地調査をしました。

討論なし

■結果 全員賛成 可決



▲現地調査（山田）

例を制定し、空家対策の推進を図ります。条例は、9条からなり、施行規則も整備されています。

問 第6条で費用に相当する額を請求するところがあるが空家所有者が完全にならないうちは請求できないのか。

答 相続がされていない場合は調査を進めて、時間がかかるが相続権利者が分かった段階で請求する。今回民法940条の改正により、住んでいない、使っていない場合は管理責任を免れることができることになったため、国や県に相談しながら対応を考える。

討論なし

■結果 全員賛成 可決

佐用町空家等の適切な管理に関する条例の制定

空家対策特別措置法を補完する形で、新たな条

組合議会報告

にしはりま環境事務組合 議会定例会

2月12日開催

組合議員 森脇 裕和

定例議会が開催され、議案2件を全議員賛成で可決しました。

議案

- ・令和6年度一般会計補正予算
歳入歳出は1,262万5千円減の12億1,000万8千円。
- ・令和7年度一般会計予算
歳入歳出は11億6,827万3千円。

議会役員の選任

- ・議長 澤田 正治 氏（上郡町）
- ・副議長 千種 和英 氏（佐用町）
- ・監査委員 高岸 博之 氏（たつの市）

播磨高原広域事務組合議会定例会

2月18日開催

組合議員 大村 隼

定例議会が開催され、同意2件、議案8件が全議員賛成で可決しました。

同意

- ・教育委員会委員任命の同意

議案

- ・刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定
- ・職員の給与に関する条例及び会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例並びに企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定
- ・職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定
- ・令和6年度一般会計補正予算
- ・令和6年度下水道事業会計補正予算
- ・令和7年度一般会計予算
- ・令和7年度上水道事業会計予算
- ・令和7年度下水道事業会計予算

西はりま消防組合議会

2月25日開催

組合議員 廣利 一志

定例議会が開催され、同意2件、議案6件を全議員賛成で可決しました。

議案

- ・議会個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例制定
- ・令和6年度一般会計補正予算
繰越明許費 8,316万4千円を設定。
予算計上していた化学車整備について、社会情勢等の影響により車両調達に不測の日数を要し、年度内の整備完了が困難なため。
- ・刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定
- ・職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定
- ・職員旅費支給条例の一部を改正する条例制定
- ・令和7年度一般会計予算
一般会計総額 30億2,579万4千円、前年比7.8%増。
構成市町分担金
佐用町 4億4,039万5千円、前年比7.3%増。
主な事業（本部）
高度救急活動事業 2,816万7千円
消防情報ネットワーク事業 9,287万1千円
資機材搬送車更新 2,487万6千円
佐用署 警防活動事業、救助ボート更新など。

同意

- ・監査委員の選任
中井 幹夫 氏（佐用町）
- ・公平委員会委員の選任
連佛 忠司 氏（たつの市）
釜田 道夫 氏（宍粟市）
宗野 祐幸 氏（太子町）

一般質問の録画・インターネット放映



佐用チャンネル6月議会の一般質問の様子は7月に2回に分けて録画放映します。

3月の一般質問は4月に放送しました。
インターネットではいつでもご覧いただけます。

佐用町の公式ホームページから、佐用町議会をクリックしていただき、

一般質問の録画映像 を

 クリックしてご覧ください。

6月定例会の予定

- 6月
 - 3 (火) 本会議
 - 4 (水) 総務常任委員会
 - 5 (木) 産業厚生常任委員会
 - 10 (火) 一般質問
 - 11 (水) 一般質問
 - 12 (木) 一般質問 (予備日)
 - 16 (月) 本会議
 - 24 (火) 本会議
- ※一般質問の様子は佐用チャンネルで放映します。

議会のあり方 勉強会を設置しました。

座 長 加古原 瑞樹
副座長 高見 寛治

私たち議会の事をもっと皆さんに知って頂きたい。そして共に佐用町の未来を築いていきたいという考えの下、自治会連合会の要望も踏まえ、まずは私たち自身が皆さんに求められる議会とはどういうものかを改めて見つめなおす必要があると考え、議員全員で設置しました。

今後は、様々な視点から議会活動を見つめなおし、テーマを絞って、定期的に関催を予定しています。

表紙写真によせて



佐用町の春を彩る播磨一本堂光福寺の大系桜(漆野)。樹齢300年という事もあり幹に空洞が出るなど、近年枯れかけていましたが、金属製の柱に支えられ、今年も見事な花を咲かせています。その純白の花びらが咲き誇る中、旧友と9年ぶりの再会をさ

れていた津志さとみさん(本位田)。15年前入院された時に同じ病室だった太子町と川西市の友人とともに満開の桜を愛でながら、尽きるこのない思い出話に花が咲いているようです。

文 加古原 瑞樹

編集後記

今号の議会だよりは、令和7年度予算審議の内容をお届けします。

昨年からのコメ不足と物価高騰で暮らしは、厳しさが増えています。皆さんに寄り添える町づくりが一層求められます。

今年は、佐用町が合併して20年、戦後80年の節目の年です。

昨年、被団協がノーベル平和賞を受賞しました。佐用町は、「核兵器も戦争もない平和な未来をめざし子どもたちに引き継ぐことを宣言しました。節目の年に、平和に暮していけるよう議会としても一層努めていきたいと思っています。

平岡 きぬゑ

議会広報特別委員会

- 委員長 加古原瑞樹
- 委員長 大村 隼
- 委員 大内 将広
- 委員 児玉 雅善
- 委員 小林 裕和
- 委員 平岡きぬゑ

